

			科目コード	157
科目名	臨床病態学V (Clinical Pathophysiology V)		開講学科	臨床検査学科
選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(30時間)	履修時期
				3年次前期
担当教員	佐田 榮司、草薙 康城、昇 淳一郎*、山本 英一*		科目区分	専門基礎科目
授業概要	医療従事者として必要な病態に関する知識のうち、高齢者医療、精神疾患医療、周産期医療、小児医療に特徴的な態度、疾患について教授する。			
授業目標	医療従事者にとって必要な、病態・疾患の概要について修得する。			

授業内容

回	項目	内 容	担当者
1	イントロダクション	高齢化の現状、老化の概念、老化のメカニズム	佐田榮司
2	老化について	老化とアンチエイジング	
3	高齢者の特徴(1)	加齢による身体の変化、高齢者に起こる疾病の特徴、高齢者に特有な徴候(老年症候群1)	
4	高齢者の特徴(2)	高齢者に特有な徴候(老年症候群2)、高齢者の臨床検査、高齢者の栄養、薬物治療	
5	高齢者で注意を要する疾患	神経・循環器・呼吸器疾患・消化器・腎泌尿器・内分泌疾患、骨・運動器疾患・視覚・聴覚等の疾患からいくつかの疾患をピックアップして講義	
6	女性ライフステージ	女性生殖器の発生、解剖、性周期の調節機構について 排卵、月経のメカニズム、女性のライフサイクルについて	草薙康城
7	妊娠の生理	妊娠の成立と妊娠の診断、正常分娩転機とその管理方法	
8	不妊症	不妊症の原因と治療法	
9	妊娠の病理	異常妊娠・分娩の解説	
10	精神疾患の病態や診断・治療に関する検査	統合失調症	昇淳一郎
11		双極性障害・うつ病	
12		境界性人格障害・広汎性発達障害	
13	小児の血液検査	小児の成長による体の変化、小児の血液検査の特徴	山本英一
14	小児の遺伝性疾患	小児の遺伝性疾患と病態、出生前検査の意義と必要性	
15	小児の生理学的検査	小児の生理学的検査の種類と実際	
成績評価方法	佐田担当分野 30%、草薙担当分野 30%、昇非常勤講師担当分野 20%、山本非常勤講師担当分野 20% (内訳：試験のみ)		
教科書	教科書は使用しない。		
参考書	必要時適宜紹介。		
備考			